

特別会計補正予算を可決

9特別会計のうち7会計で補正がありました。

	補正額	補正後予算総額
国民健康保険事業 出産一時金等	647万円減額	38億2,696万円
老人保健事業 医療給付費等	2億5,875万円減額	5億280万円
介護保険事業 居宅介護サービス給付費等	1億8,094万円減額	29億2,677万円
簡易水道事業 基金積立金等	255万円追加	7億6,440万円
下水道事業 公共下水道事業等	1億77万円減額	30億5,336万円
後期高齢者医療事業 印刷製本費等	358万円減額	4億7,860万円
土地取得事業		(債務負担行為の補正)

企業会計補正予算を可決

	補正額	補正後予算総額
上水道事業会計	39万円追加	7億9,084万円

地域情報網整備・防災行政無線事業などは、最大の効果を検証することなく漫然と執行した。今後の事業費を含めると膨大な負担が市民の将来に跳ねかえらる。

佐々木市政と国を繋ぐパイプの閉塞による影響で国の支援事業の減少

活躍クラブ
松尾 武治 議員

土地取得事業特別会計補正予算について

町長経験者である「二人の副市長」の政治手腕が、本市のまちづくりにおいて十分に活かされることなく多くの課題が先送りとなっている。

本議案も、公有財産等の処分等に関する検討委

や、不況などで苦しむ中小零細業者、土木・建設業者では廃業、倒産に追い込まれる状況になっている。

地方への財政支援が増加する中、国との強力なパイプを活かす姿勢が求められる。

委員会の設置で体裁は整えたが、方向性すら示されない。町長経験のある副市長に特命を与えるなど、解決にむけた道のりは遠くとも、全職員が奔走できる指針を示すことが市長の責務と考える。

合併時だから強硬な決断が許されるにも関わらず、政策課題への決断で指針を示すことなく、期間の延長を求める施策は他にもあるが、分離が困難なため本議案のみ反対意見を述べるものであ

反対討論(要旨)

問 塩づけ土地は早期処分が重要と考えるが、今後の対応は。

答 公有財産等の処分等に関する検討委員会等現在処分方針の取りまとめ中である。長く持つと利息が長い。

問 息を生む現状である。他の用途への転用も含め検討し、早い解消に努力したい。

答 全国的に介護保険料の滞納が問題となっている。本市の実態は。

問 現在の滞納額は約1000万円である。平成12年からの未納者もある。該当者には消滅時効の2年を超えないように納入のお願いをしている。

特別会計補正予算

平成20年度

一般会計補正予算(第3号) 5,769万円を減額補正 予算総額221億7,668万円に

全員賛成

平成20年12月2日に開会した定例議会において一般会計および特別会計の補正予算が提案されました。各常任委員会で審議され、12月22日に全員賛成で可決しました。

歳入の概要

市税		寄附金	
固定資産税など増額見込み	1億1,559万円追加	ふるさと南丹応援寄附金	242万円追加
地方特例交付金		基金繰入金	
地方税等減税補てん臨時交付金	555万円追加	財政調整基金繰入金	1億1,236万円減額
普通交付税		減債基金繰入金	3,269万円減額
再算定による調整率の変更に伴う増額など	1,053万円追加	スプリングスひよし管理運営基金繰入金	2,152万円減額
国庫支出金		市債	
地域活性化、緊急安心実現対策交付金、街路事業などの臨時交付金、殿田小学校の改築に係る安心・安全な学校づくり交付金など	1億4,495万円追加		1億3,970万円減額
府支出金		美山中核整備事業に係るまちづくり整備事業債	1,800万円減額
バス運行に係る生活路線維持費補助金の増額、緑の公共事業費補助金減額など	2,004万円減額	野条・諸畑線及び八木・馬路線に係る道路橋梁整備事業債	900万円減額
財産収入		街路整備事業債	1億620万円減額など
老朽化した市営バス3台と公用車1台の売却収入など	242万円追加		

歳出の概要

議会費		農林水産業費	
一般職員給与費など	11万円追加	野菜等経営安定事業負担金など(野菜価格補填事業)	3,196万円減額
総務費		商工費	
原油高騰対策など	4,833万円追加	工場誘致事業奨励金、商工会商品券事業補助金、京都新光悦村企業立地奨励金など	3,021万円追加
民生費		土木費	
国民健康保険事業特別会計繰入金など	4,640万円減額	都市計画街路事業など(土地購入費、補償金)	5,465万円減額
衛生費		消防費	
ごみ袋等購入費など	1,086万円減額	災害時応急救済資機材整備事業など(諸器具機械購入費)	706万円追加
		教育費	
		給食食材費など	47万円追加

問 ふるさと南丹応援寄附金の状況は。

答 6名の方に242万円の寄附をいただいた。中には、本市出身で他市居住の方もいる。

問 勧奨退職者の状況は。

答 9名から申し出があった。内訳は59歳3名、58歳3名、55歳1名、54歳1名、53歳1名である。

問 美山町知井地区内の移動通信施設の完成で携帯電話エリアはどのようになるのか。

答 芦生、知見、川谷の地域はおおむねカバーできる。まだ本市には多くの不感地域があり、改善に努める。

委員会での
主な質疑
一
般
会
計
補
正
予
算